

並木病院における新型コロナウイルス感染症の発生について
(2022/11/23 第1報, 12/17 第3報)

令和4年11月23日、入院患者2名の新型コロナウイルス感染が判明し、治療と院内感染防止施策のさらなる徹底をしましたが、その後全病棟に患者が発生しました(第2報)。

院内感染制御チームと病院職員全員が一丸で感染拡大防止に全力で臨み、4つある病棟のうち、A3病棟、A2病棟、B1病棟については感染が収束しました。残念ながらB2病棟についてはまだ収束に至っておりません。

患者様、御家族の皆様には、大変な御迷惑と御心配、御不便をおかけしておりますが、何卒御理解のほどお願い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染は第8波を迎えており、市内の患者発生がさらに増えています。無症状、軽症感染者が存在しており、いつまた病院内に感染が広がるかが予見できません。当院では以前から職員一同、厳重な感染管理下(マスク+フェイスシールド又はゴーグル装着)で患者様の診療・看護・介護を続けておりますが、さらに気を引き締めて感染管理の徹底をして参ります。感染が収束するまでは病棟職員は原則感染防御用N95マスクを装着しての勤務を継続中です。

今後、院内での感染状況にさらに変化がある場合は、速やかに並木病院ホームページで御報告申し上げます。尚、感染が収束しても現下の市中の感染状況を勘案し、当面は病院から要請がある面会を除いては禁止を継続しますのでご了承下さい。

令和4年12月17日
並木病院長 赤津拓彦